

分野4：国際文化交流の促進

中期目標
文化・人的交流事業を一層推進するとともに各国国民の対日理解の促進に注力し、親日層・知日層の形成を図る。

過去3年度（令和4～6年度）の主な成果	課題及び今後の方向性
1 【文化事業の実施、日本語の普及、海外日本研究・国際対話の促進】 ● 在外公館文化事業及び国際交流基金事業を通じた文化事業：参加者への対日理解度に関するアンケート回答等から、関心や理解が高まったことや各国国民の対日理解の促進や親日感情の醸成に寄与したことが確認できたなど、様々な形で日本文化芸術の発信、人物交流事業等の実施を通じて多様な日本文化への関心喚起を図ったことが、各国国民の対日理解を促進し、親日層・知日層の形成・拡充に結びついた。 ● 日本語の普及：日本語専門家等の海外派遣、各国・地域の日本語教育機関への助成、海外の日本語教師育成、日本語能力評価のための試験の実施、教材の開発・制作、eラーニング事業等を実施したことが、各国・地域の日本語教育環境の整備、学習機会の拡充に結びついた。 ● 海外日本研究・国際対話の促進：海外日本研究者・日本研究機関の支援、交流事業等の実施が、日本研究基盤の整備、対話・協働の促進、次世代育成、人的ネットワーク形成に結びついた。 2 【大型文化事業(周年事業関連)の実施】 ● 以下の国・地域で大型文化事業の実施が、周年を迎えた国・地域と各国国民の対日理解を促進し、親日層・知日層の形成に結びついた。 －令和4年度実施：中国、中央アジア（ウズベキスタン、カザフスタン、キルギス、タジキスタン、トルクメニスタン）、モンゴル、南西アジア（バングラデシュ）、アラブ首長国連邦 －令和5年度実施：ASEAN、ベトナム、ペルー、サモア、カンボジア －令和6年度実施：トルコ、パラオ、カリブ共同体、北マケドニア、ザンビア	1 【文化事業の実施、日本語の普及、海外日本研究・国際対話の促進】 ● 在外公館文化事業及び国際交流基金を通じた文化交流事業、日本語の普及、海外日本研究・国際対話の促進の実施により、各国国民の対日理解を促進し、親日層・知日層の形成に結びつく事業を推進する。国際社会の平和と安定のためには、国家間のみならず人と人の交流による相互理解の促進が重要であるという考えのもと、引き続き、各事業を効果的かつ効率的に実施していく。 2 【大型文化事業(周年事業関連)の実施】 ● 外交上の節目となる年を迎える国・地域における大型文化事業の実施により、各国国民の対日理解を促進し、親日層・知日層の形成に結びつく事業を推進する。国際社会の平和と安定のためには、国家間のみならず人と人の交流による相互理解の促進が重要であるという考えのもと、引き続き、大型文化事業を効果的かつ効率的に実施していく。

過去3年度（令和4～6年度）の主な成果（続）

3 【人物交流事業の実施】

- 留学生交流、スポーツ交流事業、JETプログラム、招へい事業及び対日理解促進交流プログラムによる多面的な事業実施により、参加者の直接体験及び参加者による帰国後の活動を通じた参加者自身及び各国国民の対日理解の深化、親日感情の醸成、各分野のネットワークの構築及び拡大、日本文化・外交の発信及びプレゼンス強化、円滑な外交施策推進等に貢献した。
- 帰国留学生会は世界120か国で229団体、JET同窓会は19か国で55支部が組織され、それぞれ計約11.4万人と約2.5万人の会員が活動している（帰国留学生会は令和7年1月時点、JET同窓会は令和6年末時点。）。加えて、対日理解促進交流プログラムの下、令和4～6年度において約1.1万人の諸外国青年が参加し、日本についての情報発信を行い、同窓生のプログラム年間約90件を通じて、ネットワークを強化した。

課題及び今後の方向性（続）

3 【人物交流事業の実施】

- 在外公館及び事業実施機関等の国内外の関係組織・機関との連携等を通じて、各国ニーズの把握、効果的な広報、フォローアップ、帰国後の活動・ネットワーク構築支援等の強化に努めつつ、対日理解を促進し、親日層・知日層の更なる拡充を目指して人的交流の事業を多面的に推進する。国際社会の平和と安定のためには、国家間のみならず人と人の交流による相互理解の促進が重要であるという考えのもと、引き続き、各事業を効果的かつ効率的に実施する。帰国留学生会などの同窓会組織については、今後とも外交アセットとして各国国民の対日理解促進及び親日層・知日層の形成を図る観点からも連携していく。

(主な取組)

1 【文化事業の実施、日本語の普及、海外日本研究・国際対話の促進】在外公館文化事業についての事後評価

在外公館文化事業	実績値		
	令和4年度	令和5年度	令和6年度
(1) 在外公館文化事業評価におけるA及びB評価の事業の割合(注1)	99%	99%	99%
(2) 対日理解度5及び4評価のアンケート実施総件数に対する割合(注2)	94%	92%	95%
(3) 初参加者の割合が30%以上の事業の割合	96%	94%	94%

(注1) A：効果が特に大 B：相当の効果あり C：効果が少ない D：効果がなく今回限りとする

(注2) 5：理解が強く深まった 4：深まった 3：どちらとも言えない 2：深まらなかった 1：全く深まらなかった

2 【大型文化事業(周年事業関連)の実施(アンケート結果)】

大型文化事業(周年事業関連)	主な実績値		
	中国【日中国交正常化50周年記念 平原綾香、洛天依オンラインデュエット公演】(令和4年度)	ASEAN【日ASEAN友好協力50周年 Da-ICEコンサート】(令和5年度)	トルコ【日・トルコ外交関係樹立100周年記念行事：和太鼓トルコ公演】(令和6年度)
(1) 参加者の対日理解度(5段階評価)	4	4.8	4.6
(2) 参加者数(概数)	1,830人(会場) 25.3万人(オンライン)	7,000人	2,300人

●具体的な取組は外交青書第3章4節「日本への理解と信頼の促進に向けた取組」の「2 文化・スポーツ・観光 (2) 文化事業、(4) 知的分野の交流、(5) 日本語普及」に記載。

外交青書リンク：[2023年版](#)、[2024年版](#)、[2025年版](#) (PDF版 p.296)

3【留学生交流関連】【JETプログラム】【スポーツ交流】【招へい班】【対日理解促進交流プログラム】

- 具体的な取組は外交青書第3章4節「日本への理解と信頼の促進に向けた取組」の「2 文化・スポーツ・観光 (3)人物交流や教育・スポーツ分野での交流」に記載。

外交青書リンク：[2023年版](#)、[2024年版](#)、[2025年版](#)（PDF版 p.299）

- [【対日理解促進交流プログラム】](#)（外務省HP）

- [【帰国留学生総会】](#)（外務省HP）

[令和4年度](#)、[令和5年度](#)、[令和6年度](#)